

とってもやさしい アポイ岳ジオパーク講座 【第7回】

ジオサイトめぐり (見どころ) その4



時代の異なる4つのトンネルが
残る山中地区の岬

■日高耶馬溪^{やばけい}エリア：

【D4】大正トンネル花こう岩類

様似町冬島と幌満の間に続く日高耶馬溪と呼ばれる断崖絶壁は、海の波の力によって地面が削られた際に、硬い岩石だけが削られずに残ったためにできた地形です。

その日高耶馬溪の硬い岩石を貫く国道336号山中トンネル(平成14年開通)の海側には、今でも昭和、大正そして明治の各時代に掘られたトンネルが残されているのを知っていますか？つまり、ここにはなんと4つの時代に掘られたトンネルが並んでいるのです。

ここは、長い長い年月をかけて海の波が造り出したダイナミックな地形(ジオ)と、技術と努力によってそれに挑んできた先人たちの足跡を目の当たりにできるジオサイトです。

■幌満峡エリア：【A3】ゴヨウマツ記念碑

一口に「かんらん岩」と言ってもいろんな種類のものがありますが、幌満が世界的に有名なのは、ここだけでいろんな種類のかんらん岩を見ることができるからです。

幌満川の河口から約3km上流にあるこのジオサイトには、「レルゾライト」という種類のかんらん岩があります。これは、幌満のかんらん岩の中でも、一番深いところ(地下約50～60km)から出てきたものだと言われています。

「地球深部からの使者」と言えるこのレルゾライトは、誰も行くことのできない地球の中の様子を私たちに教えてくれる、とても貴重な石なのです。



かんらん岩の一種レルゾライトの
あるジオサイトA3の河原

かんらん岩にもいろんな種類があるって言うけど、カンランくんはいつたい何ていう種類なの？

そっ、それはヒミツです。(本当は自分でもわからないらしい)

えーっ、カンランくんのけちっ。じゃあ、いいもん！自分で調べるから。

なになに、かんらん岩の種類を調べるには、どんな鉱物(注)がどれだけ入っているかを見ればいいのね。カンランくん、ちょっと頭をよく見せて。

あわわ…、ちよつとやめて、恥ずかしい…。おつと、今日はアポイ岳登山の日だった。もう行かなくちゃ。それじゃ、またねー。

もう、そればかり。ぜつたいにいつか調べちゃうもんね。カンランくんのヒミツがわかったら、みんなにも教えるね。

※注：「鉱物」は、岩や石の基になるもので、鉱物の粒が集まってできたのが岩や石です。岩や石をおにぎりに例えると、ごはん粒が鉱物です。